

## 【様式4】令和4年度 長崎市民会館におけるモニタリング状況報告書

指定管理者名	株式会社NBCソシア	所管課名	生涯学習施設課 生涯学習企画課 人権男女共同参画室
--------	------------	------	---------------------------------

### 1 利用者からの意見に対する主な対応状況

実施年月日	意見の内容	対応
令和4年8月	ボイラーが故障していてシャワーが使えない。	所管課対応により、ボイラーの取替修繕を行った。
令和4年9月	文化ホール入口の階段が外壁工事の足場の影響で暗いので明るくしてほしい。	施工業者対応により、スポットライトを設置した。

### 2 現地調査等の実施状況

実施年月日	内容	特記事項
年間を通じて	指定管理者事務所へ定期的に足を運び、関係職員と対面での協議、細やかな連絡及び指導を行っている。	特になし。

### 3 その他のモニタリングの状況

実施年月日	内容	特記事項
年間を通じて	月次報告により毎月の利用状況や講座実績、施設整備の状況などの情報を共有し、必要に応じて協議を行い、助言及び修繕、改修工事などの対応を行った。	利用状況・実施の確認だけでなく、利用者からの要望、指定管理者からの意見等、様々な情報の共有を行い、より一層業務の充実化を図ることができた。

#### 4 サービスの向上や利用者増加への取組み状況

実施年月日	取組み内容	取組みへの評価
令和4年11月26～27日	市民会館の施設を活かした体験型のプログラム「長崎市民会館いちょう並木フェスタ」を2年ぶりに開催し、市民会館の施設をフルに活用した様々なプログラム(スタンプラリー、映画等上映会、コンサート、ピンポンゲームなど)を実施した。	市民会館の利便性と魅力を発信するよいイベントであり、今後も晩秋のイベントとして定着化を図ってほしい。
年間を通じて	中央公民館では、ICT(情報通信)を用いた学習や活動の機会提供に取り組み、Zoomを活用したオンライン講座、スマホの役立つ使い方講座、YouTubeチャンネルや動画の拡充を図った。	ICTの活用は、今後の新しい生活様式に沿ったものであり、利用者の利便性を図るもので、今後も関連講座などを充実させてほしい。
令和5年3月24日	男女共同参画推進センター(アマランス)エントランスに設置している大型モニターを活用し、男女共同参画に関する情報及び講座や貸室の空き状況等の情報発信を行った。	利用者の目に留まりやすい場所にモニターを設置し、啓発等情報発信を行うことで、より効果的な周知が期待できる。

#### ○施設利用者の状況

	単位												人
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
令和3年度①	21,748	60	25,844	29,592	15,421	20,165	33,109	28,314	26,343	17,801	9,182	26,448	254,027
令和4年度②	28,018	26,079	28,771	32,402	29,385	26,190	35,390	34,827	33,313	22,693	25,784	29,633	352,485
②-①	6,270	26,019	2,927	2,810	13,964	6,025	2,281	6,513	6,970	4,892	16,602	3,185	98,458

#### 新型コロナウイルス感染症にかかる休館期間等

【令和3年度】文化ホール：令和3年4月28日～6月7日、令和3年8月27日～9月12日、令和4年1月23日～2月21日  
 トレーニング室：令和3年4月28日～6月7日、令和3年8月22日～9月12日、令和4年1月23日～2月21日  
 卓球室：令和3年4月28日～6月7日、令和3年8月22日～9月12日、令和4年1月23日～2月21日  
 中央公民館：令和3年4月28日～6月7日、令和3年8月27日～9月12日、令和4年1月23日～2月21日  
 男女共同参画室推進センター：令和3年4月28日～6月7日、令和3年8月27日～9月12日、令和4年1月23日～2月21日

【閉館時間繰上期間】令和3年8月22日～9月6日(中央公民館、文化ホール)

【令和4年度】なし

総括コメント  
※指定管理者に対する  
市の評価等

市民会館全体について、令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策の臨時休館などの対応が無くなり、施設の利用者は前年度より98,458人増加した。事業に関しても、2年ぶりに「長崎市民会館いちよう並木フェスタ」を開催したことや昨年度より実施しているNBCラジオ「市民会館アワー」において市民会館情報を発信したことで、市民会館の魅力を周知したことは評価できる。今後も市民会館の利便性と魅力を周知しつつ、新たな事業も拡充して行き、利用者の利便性の向上を図ってほしい。

中央公民館の講座受講者数については、新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなったこともあり、令和3年度より20,954人増加した。令和3年度からICT(情報通信技術)を用いた講座や企画をさらに拡充したことは評価できる。来年度も、新しい利用者に公民館を活用してもらうような講座企画に努めてほしい。

男女共同参画推進センターについては、利用者は令和3年度と比較して11,544人増加している。新型コロナウイルス感染症による感染状況等が比較的落ち着き、施設の休館期間等もなかったことから、増加したものと考えられる。講座の受講者数は9,404人と、令和3年度と比較すると4,998人増加した。特に派遣講座の「性についての学習会」の開催数が増加しており、ニーズに応じた講座を提供できている。

今後も継続して、より多くのかたへ男女共同参画に関する学びの場を提供するとともに、それぞれの講座と「男女共同参画」とのつながりを意識させるための説明をより丁寧に行うことや、「男女共同参画」をより身近なこととして興味を持ってもらえるような講座内容にするなど、工夫をすることで参加者の満足度及び理解度の向上にも努めてほしい。